

7 区 共 通 予 算

<予 算 額>

10,675,831千円 (対前年度比：+1.4%)

<主な事業>

問合せ先:市民文化局庶務課 200-2255 内) 26101

共に支え合う地域づくりに向けた区役所機能の強化

区役所等庁舎整備の推進 1,237,275千円

- 宮前区役所向丘出張所のトイレ快適化や、麻生区役所の換気設備の改修など、区役所等庁舎の整備を進めます。
- 「大師地区複合施設・田島地区複合施設 整備・運営基本計画」(令和4年8月策定)に基づき、新しい地域の拠点の整備に向けた取組を進めるとともに、川崎区役所と支所の窓口変更(令和7年1月予定)に向けた川崎区役所庁舎のレイアウト変更等の取組を進めます。

区役所改革の推進 38,338千円

- コミュニティ施策の推進に向けて、区域レベルのプラットフォーム「ソーシャルデザインセンター」の創出及び運営支援を区ごとに行うとともに、地域レベルの居場所「まちのひろば」の創出に向けた取組を引き続き進めます。

また、区民会議のリニューアルに向けた新しい参加の場として、区民による対話の場「地域デザイン会議」の試行実施の取組を進めます。

- 地域のことをよく知り、かつ地域をコーディネートする能力や協働のマインドを持つ職員の育成を図ります。

戸籍・住民基本台帳事務等の利便性向上 3,556,744千円

- 市民の利便性向上のため、マイナンバーカードの円滑な交付や出張申請受付などカードの普及に向けた取組を推進します。
- 区役所事務サービスシステムの運用を行うとともに、区役所窓口等における手続きのデジタル化に係る取組を実施します。



宮前区地域デザイン会議

問合せ先:建設緑政局庶務課 200-2785 内) 38201

市内道路施設の維持管理・大規模補修 1,144,409千円

- 各区の道路等について、適切な維持管理を計画的に実施することにより、道路交通の安全を確保し、市民の快適な生活環境を維持します。

公園緑地・街路樹の維持管理 1,786,848千円

(令和4年度補正予算対応 85,000千円)

- 公園や街路樹等について、市民生活に欠かせない身近な緑として、安全・安心な利用環境の維持・向上のため、適切な維持管理を実施します。(拡充)
- 公園緑地等の適正な維持管理水準について調査等を行い、今後の持続可能な維持管理の充実に向けての検討を実施します。(新規)

<予算額>
問合せ先:総務課 201-3121 内) 61110
1,689,493千円 (対前年度比: +4.1%)

<主な事業>
地域資源を活かしたまちづくりの推進
38,385千円

○令和5年に、東海道川崎宿起立400年を迎える川崎区では、「川崎宿起立400年プロジェクト推進会議」を核とし、地域の様々な団体や東海道かわさき宿交流館と協働して、歴史・文化資源を活かしたまつり、スタンプラリー、東海道シンポジウム川崎宿大会の開催などのイベントに加え、宿場らしいまちなみの整備推進や区内外への積極的なPRなどの取組を行うことにより、新たな賑わいを創出するとともに、地元へのさらなる愛着と誇りの醸成を図ります。(拡充)


**東海道川崎宿
400年ポスター**

- アメリカンフットボール体験イベントなどを開催することにより、地域のスポーツ資源の魅力を発信します。また、「カルッツかわさき」や「富士通スタジアム川崎」を活用し、ボッチャやカローリングをはじめとしたパラスポーツの体験イベントを開催するなど、富士見公園周辺施設を活用したスポーツと触れ合う機会を創出するとともに、総合型地域スポーツクラブと連携した地域交流の場を提供します。
- 広報においては、動画の活用や市政だより川崎区版特別号の発行など、多様な媒体により、区政情報や地域情報を効果的に発信します。また、区の情報発信などに関するアンケート調査を外国人住民を対象に実施し、外国人向けの取組の効果を調査・検証することで、より効果的な外国人向けの情報発信を推進します。(拡充)

区のイメージアップに向けた環境まちづくりの推進
4,668千円

- 川崎駅周辺の落書き消しや市役所通りのぎんなん採取、東扇島地区におけるごみのポイ捨て防止対策など、美観向上や環境改善に向けた取組を進めます。
- 区の花であるビオラの花苗やひまわりの種子を緑化活動団体などへ配布するとともに、地域住民と協働で、富士見公園の花壇等の植栽を行い、区の花・区の木の情報や地域緑化による区のイメージアップを図ります。


ビオラの植栽
誰もが安心して、生き生きと暮らせるまちづくりの推進
4,188千円

- 区オリジナル体操「ほほえみ元気体操」などを活用し、幅広い世代が身近な場所で主体的に健康づくり・介護予防に取り組めるよう支援します。
- 地区カルテなどを活用し、地域における多様な主体と顔の見える関係を築きながら、地域で活動する団体の情報を広く発信して成功事例を共有するとともに、地域包括ケアシステムについて理解を深めるための出前講座や地域の情報・課題を区民と共有するためのワークショップ等を開催するなど、様々な機会を捉えた普及啓発に引き続き取り組み、支え合いの地域づくりを進めます。


**「ほほえみ元気体操」による
地域の健康づくり活動**

地域における子ども・子育て支援の推進

4, 153千円

- 区の世代を超えた交流により暮らしやすく、子育てしやすい地域づくりを目指して「かわさき区子育てフェスタ」を実施し、区内の子育て情報を発信するとともに、子育て不安の解消につなげ、地域包括ケアシステムを推進します。
- 保育所、幼稚園、福祉施設などの子育て支援機関からの申請に基づいて、ボランティアによる通訳・翻訳を行い、日本語に不慣れな子どもや保護者を孤立させないための支援を行います。
- 日本語に不慣れな小中学生が学校生活や地域生活に適応し、健全で安心な生活を送れるよう、日本語能力の習得や教科の基礎学習の支援を行うとともに、孤立を防ぐための居場所づくりを推進します。

安全・安心なまちづくりに向けた地域防災力の向上

4, 032千円

- 地域防災力の向上を目指し、より実効性の高い避難所開設・運営訓練、川崎区総合防災訓練を区民や関係機関などとの連携により実施します。また、外国人住民を対象とした通訳者付きの防災講座の実施や多言語版風水害避難チラシを活用した啓発を実施します。
- 区災害対策本部の充実、強化を目的として、区職員の災害対応力の向上のための実践的な職員向け訓練・研修を実施します。また、区本部や避難所の運営において必要となる資器材の整備を行い、災害に強いまちづくりを推進します。



川崎区総合防災訓練

交通安全と自転車対策の推進

4, 621千円

- 警察、各種交通安全団体などと連携し、交通安全キャンペーン活動を行うとともに、幅広い世代を対象に自転車大会や交通安全教室などを開催し、広く啓発活動を行うことで、交通事故の防止、交通ルールの遵守及びマナー向上を推進します。
- 地域、家庭、学校が一体となり、子どもを交通事故から守るという意識の向上を目的として、川崎区新入学児童「交通安全絵のコンクール」を実施します。区内を走るバスに作品を展示するほか、作品を使用した啓発品を交通安全キャンペーンなどで配布します。
- バス停留所付近の歩道や夕方短時間の店舗前での放置自転車が見受けられるため、小学生の絵画を利用した路面上への啓発シートの設置をするとともに、協力店舗にポスターを掲示するなど様々な媒体を活用した啓発活動の充実を図ります。



交通安全絵のコンクール
金賞作品（R4）

区の機能強化に向けた取組

5, 000千円

- 区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修

854, 164千円

- 区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理

186, 324千円

- 区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、施設補修等を行います。

<予 算 額>
問合せ先:総務課 556-6602 内) 62110
996,960千円 (対前年度比: +5.3%)

<主な事業>
地域資源を活かしたまちづくりの推進
30,152千円

- 川崎駅西口周辺を中心とした地域資源を活用し、地域が一体となって多様な主体によるイベント等を実施し、市制100周年に向けて、新たな多世代の交流及びまちの賑わいを創出し、地域の活性化を推進します。(新規)
- 地域住民等と連携・協力して、区制50周年を契機に整備した花壇をはじめ、区内の緑化活動を実施することで、花と緑のうおいのあるまちづくりを推進します。
- 幸区にゆかりの深い、絵本作家のかこさとしさんと区つながりや、新鶴見機関区などの鉄道ビュースポット等について発信することで、区民の区への愛着を深めるとともに、まちの賑わいを創出します。
- 「新川崎・創造のもり」での子ども向け科学体験イベントや、ミューザ川崎シンフォニーホールでのコンサートの開催、梅林の復活に取り組んできた御幸公園の一層の活用・賑わい創出等、地域特性を活かした魅力あるまちづくりを推進します。



整備した花壇での緑化活動



鉄道ビュースポット等の紹介や展示

健康で安心して暮らし続けられるまちづくりの推進
5,874千円

- 地域包括ケアシステムの構築に向け、講演会の開催や、町内会・自治会など小地域単位での地域特性を活かした自助・互助活動の支援等により、地域住民が主体となる、人と地域のつながりが活発で見守り支え合う地域づくりを進めます。
- 情報誌「保健福祉情報さいわい」で地域活動団体を紹介する等、地域包括ケアシステムの構築・推進に向けて広報を行い、区民の保健福祉に対する理解を深めます。
- 「50歳からのさいわい健幸Book」の発行や、健康づくり講演会の実施等により、身近な地域における健康づくり活動を支援します。

安心して子育てできるまちづくりの推進
7,831千円

- 区内の子ども・子育て支援団体同士の情報共有と連携強化を図るとともに、情報発信や講演会、「みんなで子育てフェアさいわい」などの事業を通じて、地域で子育てを支援する環境づくりを進めます。
- 子育て情報誌「おこさまっぷさいわい」の発行、公園を活用した子育て交流の場の提供、中高生向け地域ボランティア（はぴ☆ボラ）等各種事業を通じ、区民の子ども・子育て支援に取り組みます。



はぴ☆ボラ

- 「新しい生活様式」の下での保育施設に関する情報提供を充実させるため、施設案内映像の制作・配信をさらに推進し、利用者に対するきめ細かな相談・支援を行い、待機児童の解消を図ります。

地域コミュニティ活性化の推進

5,874千円

- 個人や団体がまちの色々な場所で交流イベントを同時に行う事業を実施し、地域における人と人とのつながりをつくり、若い世代等が地域活動に参加しやすい環境の醸成を図ります。また、活性化講座の開催や町内会・自治会への加入を促進する啓発品の作成・配布により、身近な町内会・自治会を中心とした地域活動を支援します。
- 市民活動コーナーについて利用団体による自主的な運営を支援するとともに、団体相互の交流を促進し、市民活動の活性化を図ります。
- 地域のスポーツ施設等の資源を活用し、区民の健康及び体力の保持増進を図るとともに、イベント等を通じた世代間交流やパラスポーツの振興等によるかわさきパラムーブメントの推進を図ります。

安全で安心して暮らせるまちづくりの推進

8,249千円

- 「幸区避難所訓練マニュアル」等を活用した区内避難所における避難所開設・運営訓練の実施、避難所運営会議が実施する防災訓練の支援等により地域防災力を強化するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響下に配慮した訓練・研修を通じて職員の災害対応力を向上させ、防災体制の充実を図ります。
- 地域及び関係団体とともに大規模災害時に必要な対策を検討する「幸区災害対策協議会」を、新型コロナウイルス感染症対策を施しながら実施し、防災に関する情報収集・共有を図り、地域防災力の強化に向けた取組を推進します。
- 交通安全教室の開催や事故防止に向けた啓発活動の実施など、区民の交通安全に関する意識高揚に向けた取組を進めるとともに、地域及び関係団体と連携しながら、防犯や防火などの啓発活動を実施し、安全・安心なまちづくりを推進します。



交通安全教室

区役所サービス向上への取組

1,345千円

- 「さいわい広報特別号」の発行により、区政や地域資源等に係る情報を区民へ発信します。
- 窓口等における混雑緩和・効果的な対応につながる環境整備や、「区役所改革の基本方針」に基づく効率的・効果的な業務サービス提供に向けた研修等による職員の人材育成等を行い、区役所サービスの一層の向上を図ります。

区の機能強化に向けた取組

5,000千円

- 区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修

553,908千円

- 区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理

59,530千円

- 区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、施設補修等を行います。



<予算額>

問合せ先:総務課 744-3122 内) 63110

943,526千円

(対前年度比:△26.9%)

<主な事業>

地域活性化に向けたコミュニティづくりの推進

10,997千円

- 武蔵小杉駅周辺地域のコミュニティ形成の取組を支援します。また、公共空間等を活用し、人々が憩い、多様な活動ができる場を創出するための取組や、持続可能な実施体制づくりに向けた検討を行います。
- 地域メディアと連携した取組「なかはらメディアネットワーク」において、ケーブルテレビやFMラジオによる地域情報番組の制作、地域新聞への記事掲載により、区の魅力や行政情報を発信します。
- 商店街を地域の情報交換や交流の場として、店舗の特徴を活かした各種教室やテーマ性を意識したイベントの開催等、地域コミュニティの活性化に向けた取組を推進します。



中原区役所チャンネル(YouTube)

安全・安心なまちづくりの推進

8,889千円

- 防犯パトロール実践講座の実施、防犯パトロール資器材の貸し出し、安全マップづくり等により、地域防犯活動の活性化に向けた取組を推進します。また、区役所の公用車による犯罪防止に向けた自主防犯パトロールを実施します。
- 区総合防災訓練の実施、避難所運営会議及び自主防災訓練の支援、区本部の機能強化等、区の総合的な防災力向上に向けた取組を推進します。また、災害に関する情報の普及を促進するため、各ハザードマップや防災情報を一元化した「中原備える防災マップ」を5年ぶりに更新し、中原区役所ホームページに掲載するほか、区役所等各公共施設で配布します。



中原区総合防災訓練

- (拡充)
- 自転車やバイクに関する交通事故を防止するため、区内の小中学校等で交通安全教室を実施します。

人と人との出会いを橋わたしする地域福祉の活性化

2,330千円

- 地域包括ケアシステムの浸透や地域交流のきっかけづくりに向けた取組を5地区の実情に合わせ、対話の機会を設けながら推進するとともに、障害のある人への合理的配慮のため、区の主催事業への手話通訳者等の派遣を実施します。
- 「中原区シニアのためのおでかけマップ」等により、地域交流の場や活動などの情報を提供することで、高齢者の外出や社会的交流を促進します。

区民と協働した子ども支援の推進

8,825千円

- 「中原区子育て情報ガイドブック」「子育て情報等紹介リーフレット」「中原区周辺子育て施設マップ」、ホームページ等により多種多様な子育て情報を効果的に提供します。

○親子の仲間づくりや子育てしやすい地域のコミュニティづくりを推進するため、子育てサロン（15か所）の運営を支援します。

○区内の子どもに関わる団体・機関による情報交換、子育て情報紙「なかはら子ネット通信」の発行、交流事業「なかはら子ども未来フェスタ」や新たなボランティア人材を育てるために子育て支援者養成事業を開催し、地域で子育てを支えるまちづくりを推進します。



子ども未来フェスタ

スポーツ・文化資源・みどりなどの地域資源を活用したまちづくりの推進 14,474千円

○区内に拠点を置く「かわさきスポーツパートナー」と連携し、サッカー教室、バレーボール教室、バスケットボール教室等の開催により、スポーツを通じた地域の活性化を推進します。

○市民が気軽に運動できる機会を提供するため、誰もが簡単にニュースポーツやパラスポーツ、最先端スポーツ等を楽しめる「中原スポーツまつり」を開催します。

○公共花壇の植栽及び維持管理、花苗の配布等、区民ボランティアと協働し、花と緑を活用した事業を通してまちの魅力向上を図ります。

○地域で活動するアマチュアミュージシャン等が出演し、ボランティアスタッフが企画・運営する音楽ライブ「In Unity」を開催し、音楽を通じた地域の活性化を推進します。



スポーツチャンバラ
(中原スポーツまつり)



花苗の配布会

区役所サービスの環境改善 3,152千円

○中原区における人口増加に伴う行政需要に対応した適切な区役所サービスの提供に向けて、サービス向上研修の実施、庁舎内の環境改善に係る取組のほか、区役所を訪れる誰もが気軽に集い憩うことのできる空間整備に向けた取組を推進します。また、来庁者向け滅菌機を使用した筆記用具の消毒等、継続した感染症対策に取り組みます。

市制100周年の取組 3,100千円

○令和6年に迎える市制100周年を機に、地元への愛着を深めるため中原区における100周年記念イベントを実施します。また、ブランドメッセージにもある多様性をテーマにしたさまざまなメッセージを区民から募集します。(新規)

区の機能強化に向けた取組 5,000千円

○区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修 488,855千円

○区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理 72,699千円

○区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、施設補修等を行います。



<予 算 額>

問合せ先:総務課 861-3120 内) 64110

950,962千円 (対前年度比: +4.1%)

<主な事業>

地域資源を活用した魅力あるまちづくりの推進

13,872千円

- 高津大山街道周辺の歴史的・文化的な資源や橘地区の農的資源等を活用したイベントの開催と、担い手となる人的資源の交流促進・連携強化により、地域の活性化や区全体の魅力向上を図ります。
- 区内の自然・文化等の地域資源をつなぐマップ「高津のさんぼみち」の配布や活用、公共サインの更新により、回遊性のある魅力的なまちづくりを進めます。また、高津区に関する写真等の資料を社会的資産として活用し、区民の目に留まる機会を増やすことにより、ふるさと意識の醸成を図ります。
- 区民との協働による花壇の維持管理、二ヶ領用水久地円筒分水の清掃活動、かすみ堤の保全等を行うことにより、身近な憩いの場として花と緑のある空間を創出します。
- 多様な媒体を活用した広報や民間主催のイベントと連携したプロモーションにより、幅広い区民に対して積極的かつ効果的に脱炭素の取組や市制100周年・全国都市緑化かわさきフェアなど重要施策を発信し、シビックプライドの醸成を図ります。



高津大山街道「まちの企画室」
第1期プロジェクトの
一つとして開催した
「高津大山街道リズムフェス」

多様な主体との連携による地域コミュニティ活性化の推進

12,196千円

- 区にゆかりのある音楽・ダンス関係団体等と連携したイベントを開催することにより、地域における音楽・ダンス文化の普及と参加機会の拡充を図るとともに、地域のつながりづくりを推進します。また、多様な主体の連携によるイベント運営や障害者スポーツ体験の実施を通じて、かわさきパラムーブメントの啓発を進めます。
- まちづくりに関心のある区民や、地域における誰もが集える居場所「まちのひろば」の創出に取り組む区民に対して相談や支援機会を提供するとともに、多様な主体の連携により区内の様々な地域資源の活用を図りながら、市民創発のまちづくりを促進します。また、これらの取組を包括して「高津区ソーシャルデザインセンター」と位置づけ、幅広く区民への周知を図ることにより、一層のまちづくり活動への参加を促します。さらに、町内会・自治会の役割について区民の理解を促進する取組や感染症対策等を踏まえた活動支援を行い、地域における「顔の見える関係づくり」を支援します。加えて、市民活動・まちづくり活動に必要な場を各団体へ提供することにより、地域コミュニティの活性化を図ります。



まちづくり活動の仲間探しや
企画立案の支援を行う
「まちづくりカフェかつ」

総合的な子ども・子育て支援の推進

3,431千円

- 誰もが安心して子育てができるよう、子育て支援講座を実施するほか、一部に英語・日本語ルビを付した子育て情報ガイドブックを区民と協働で発行し、子育て情報を発信します。
- 関係機関が連携し、地域で子育てしやすいまちづくりを推進するとともに、子育てグループ等の活動を支援することにより、地域の子育て力の向上を図ります。

すこやか・支え合いのまちづくりの推進

2,690千円

- 住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域包括ケアシステムの推進に向け、在宅医療の普及啓発を行うとともに、区内マンションにおける住民間や地域との「つながりづくり」の取組を支援し、地域の支え合いや良好なコミュニティ形成を推進します。
- 「高津公園体操」の普及促進や働き盛り世代の健康づくりの推進、健康づくり活動団体の交流を図りながら、介護予防・健康寿命の延伸や多世代交流、見守り活動など、共に支え合う地域づくりにつなげます。



健康づくりを通じて地域の交流が広がる「高津公園体操」

安全・安心なまちづくりの推進

14,815千円

- 住民相互の連携力・防災力を強化するため、高津地区・橘地区の防災訓練を継続して実施するとともに、感染症対策等も含めた避難所運営体制の強化を図るため、自主防災組織と連携した会議や避難所開設訓練を計画的に実施します。また、区災害対策本部体制の強化を図るため、必要物資の配備や事業者と連携した訓練を実施します。さらに、区民の防災意識を喚起し、主体的な防災行動を促すため、身近な地域の減災マップを参加者自らが作成するワークショップの開催や各種防災パンフレットを活用した啓発活動を引き続き実施します。
- 交通安全意識向上と事故防止のため、区内中学校での交通安全教室の開催や多世代に向けた広報冊子の作成・配布等、自転車交通安全ルールの確立に向けた啓発活動を実施します。また、交通安全対策の強化に向けた取組を推進します。（拡充）
- 「エコシティたかつ」推進方針に基づく環境学習や雨水循環の取組の推進、緑ヶ丘霊園における地面の保水力向上に向けた取組等を通じて、気候変動適応策の啓発を進めます。また、溝口周辺がモデル地区となっている市の脱炭素戦略に基づく取組「脱炭素アクションみぞのくち」について、事業者・団体・区民との連携を通じて広報・啓発を進めます。（拡充）



避難所開設を想定した避難所運営訓練

区の機能強化に向けた取組

5,000千円

- 区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修

398,288千円

- 区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理

45,417千円

- 区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、施設補修等を行います。



<予算額>

問合せ先:総務課 856-3122 内) 65110

877,633千円 (対前年度比: +8.8%)

<主な事業>

多彩な地域資源を活かしたまちづくりの推進

8,802千円

- 区内を中心に活動する和太鼓団体による演奏のほか、地域に伝わる民俗芸能の紹介を取り入れ、「響け！みやまえ太鼓ミーティング」を開催し、文化・伝統の再認識と、保存・継承に向けた担い手の発掘と育成につなげます。
- 様々な世代がスポーツや健康づくりに親しめる環境づくりとパラスポーツの普及啓発のため、地域の特性を活かし、区民を対象とした事業を進めます。
- 歴史的遺産や農などの地域資源を活用したウォーキングイベントの実施や、農産物直売所ガイド&マップ、宮前歴史ガイド等による情報発信を行い、多様な人材の参画による地域づくりを推進します。
- 区内の様々な魅力・情報の発信に向けて、市民活動団体等からの事業提案を募集し、協働による取組を推進します。



響け！みやまえ太鼓ミーティング

地域活動の担い手・ネットワーク・場づくりの推進

14,922千円

- 町内会・自治会のエリアマップを転入時に配布するほか、子育て世代向けリーフレットを地域のイベントで配布するなど、町内会・自治会活動への理解と加入の促進に取り組みます。
- 町内会・自治会をはじめとした地域活動や地区カルテの情報を町名ごとに掲載する宮前区ご近所情報サイト「みやまご近助さん」の運営・改修を行い、身近な暮らしの中でのつながりづくりを支援します。併せて、子育て世代の「ご近助コンシェルジュ」のこれまでの活動を振り返り、地域活動と子育て世代の相互理解が更に進むよう今後の取組を検討し、多世代交流や多様な主体の連携の促進を行います。(拡充)
- 宮前区まちづくり協議会を通して市民活動団体を支援するとともに、団体間の交流や連携を促進し、地域の活性化を図ることで、区民主体のまちづくりを推進します。
- 区民による主体的な花壇の管理・整備を推進し、地域コミュニティの形成支援及び区のイメージアップを図ります。また、講演会を開催し、緑化活動団体の活性化に向けた人材育成と技術支援を行います。
- 「夏休み子どもあそびランド」を実施し、子どもたちが「あそび」を通じて地域住民と交流を図ることで、地域を「ふるさと」として実感できる地域形成を促進します。
- 「宮前区役所向丘出張所の今後の活用に関する方針」に基づき、向丘地区で行われるイベントや地域情報などを受発信するための広報紙を発行するほか、地域の居場所及び活動・交流の場として出張所を利用するための取組を推進します。(新規)



向丘出張所

心がつながり、互いに支え合う地域の輪づくりの推進

3,154千円

- 地域包括ケアシステムの推進に向けて、多様な主体と連携した地域のつながりづくりへの支援、地域包括ケアシステム推進イベントの開催、区民の「意識づくり」に向けた広報など理解と共感を広げる取組を推進します。
- 区民の健康づくりの実践を支援するために、健康や地域の活動の場について、公園体操や認知症カフェマップ等の配布を通じて情報発信を行うとともに、宮前区オリジナル「だいすきメロコス体操」などを活用し、地域主体による健康づくりの取組を支援します。



だいすきメロコス体操

地域における、切れ目のない子ども・子育て支援の推進

8,622千円

- 情報誌「みやまえ子育てガイドととことこ」や、ホームページ、ソーシャルメディアなど多様な媒体を活用し、障害のある方や外国人住民を含む全ての区民が、地域の中で安心して子育てができるよう支援します。「とことこ」については、子育て支援に関わる区民等の協力を得て、全面改訂します。
- 子ども・子育てに関わる地域の関係者の連携により、子ども及びその保護者と子育てグループやサロン・広場等の交流が進むよう支援等を行い、子どもたちが安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。
- 親子で自然体験ができる機会や地域住民を主体とした「冒険遊び場」活動を契機として、子どもの自然を大切にすることを育むとともに、子どもたちのすこやかな成長と地域コミュニティの活性化を目指します。

区民との協働による安全・安心で、快適なまちづくりの推進

7,151千円

- 地域防犯団体のパトロール活動や落書き消し活動の支援、交通安全教室の実施等により、安全で安心して暮らせるまちを目指します。
- 多世代交流イベントの「みやまえご近助ピクニック」と連携した「防災フェア」を開催し、地域住民の防災意識の普及啓発を図ります。また、防災推進員養成研修を実施し、地域人材の育成を行います。



防災フェア

市制100周年の取組

1,000千円

- 市制100周年に向けてメッセージを発信し周知を図るため、区内にある東名川崎インターチェンジ前に設置したイメージアップサイン看板の更新を行います。(新規)



イメージアップサイン看板

区の機能強化に向けた取組

5,000千円

- 区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修

345,006千円

- 区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理

70,617千円

- 区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、施設補修等を行います。

<予算額>

問合せ先:総務課 935-3122 内) 66110

1,325,582千円

(対前年度比: +17.8%)

<主な事業>

地域資源を活用した賑わいと魅力あるまちづくりの推進

22,146千円

- 多様な主体との協働やSNS、メディア等の媒体により、区の魅力を内外に積極的に発信するなど、区への関心を深め、訪れる人も住む人も楽しめる「ピクニックタウン多摩区」の取組を進めます。
- 「たま音楽祭」や生田緑地を会場とした「ピクニックコンサート」等を開催し、音楽を通じてまちの賑わい創出や地域交流の活性化を推進します。
- 多摩区生田1丁目に川崎フロンターレが事業者となるスポーツ拠点「フロンタウン生田」が開設されます。区の新たなスポーツ資源を活用して、「多摩区スポーツ推進事業」を実施し、誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる機会を提供し、地域住民の交流、地域の活性化を進めます。(拡充)
- 登戸土地区画整理事業の進展に伴い大きく変わりゆく登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区の状況を踏まえ、まちの賑わい継承の手法の一つとして、AR(拡張現実)を活用した取組を実施し、まちの回遊性の向上を図ります。



フロンタウン生田

災害に強く安全で安心できるまちづくりの推進

5,304千円

- 地域防災力向上のため、区民の防災意識の醸成、自主防災組織の育成等を目的とした防災フェア・防災講座等の開催や、防災に対する地域人材育成の促進に加え、次世代の防災リーダーを発掘・育成するため、子育て世代等も興味を持って参加できる訓練を実施します。
- 区の危機管理能力向上のため、職員を対象に防災基礎研修や実践形式の避難所開設研修等を実施します。また、避難所等において迅速かつ的確な運営を実施するための物品を整備します。
- 地域、警察及び消防と連携して地域へのパトロール活動支援や防犯・交通安全対策を併せた啓発の取組を実施し、安全で安心できるまちづくりを進めます。
- スタントマンが自転車の危険運転を実演するスケアードストレート方式の交通安全教室の開催や、小学生から募集した交通安全標語による啓発活動により、交通安全意識の定着を図ります。
- 住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らせる「住まいの環境衛生」を推進し、心と体の調和のとれた快適な暮らしの実現や人と動物の調和のとれた共生社会の実現に向けた取組を進めます。(拡充)

たまっ子を区民みんなで育てるまちづくりの推進

6,090千円

- 子育ての悩みや不安を解消し、地域で安心して子育てできるように、子ども・子育てに関する情報や相談窓口の情報を多様な方法で周知し、集いや遊びの場を提供します。
- 子ども・子育て支援団体や関係機関によるネットワーク会議を開催し、地域全体で子育てを支援する取組を進めます。

○公園や広場など身近にある自然環境の中で子どもの外遊びと地域との交流を推進し、子どもの創造力と社会性を培います。

すこやかに安心して暮らせる地域福祉・健康のまちづくりの推進

5,078千円

- 誰もがすこやかに安心して暮らせる地域を目指し、団体同士のつながりを深め、地域の課題を共有するなど、地域特性に応じた地域づくりの取組を推進します。また、地域包括ケアシステムの理解促進を目的とした広報誌を引き続き発行するなど、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を推進します。
- 区内小学校での認知症サポーター養成講座や中学校での認知症講演会の開催を継続し、認知症への理解を深め、認知症の人や家族が安心して暮らせる地域づくりを進めていきます。
- 多摩区総合庁舎アトリウムを利用し、区内の障害者団体・作業所等の活動紹介や作品展示、相談先の紹介等を行う「パサージュ・たま」を開催するとともに、参加団体の日頃の活動の様子を紹介する動画を作成し、広報するなど、障害福祉への理解と関心を深めてもらうための取組を推進します。



多摩区地域包括ケアシステム
広報誌「地ケア TAMAMA」

市民自治を一層進める地域人材によるまちづくりの推進

16,352千円

- 区内に立地するなど多摩区にゆかりのある3大学と地域との交流・連携を図ることを目的として、大学生の地域参加を促進するプログラム「たまなび」や「多摩区3大学コンサート」などを実施します。また、地域の課題解決に向けた取組を3大学と連携して実施します。
- 町内会・自治会への加入促進のための広報物の発行や課題解決の方策について検討するための講演会の開催等により、町内会・自治会を支援し、地域コミュニティの活性化を図ります。
- 「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」における区域レベルの取組を推進するため、地域で活動する団体等からの相談受付や活動支援に向けたコーディネート等を行うソーシャルデザインセンターについて、区民主体で効果的に運営するための支援を行い、市民創発による地域課題の解決に向けた取組を進めます。
- 生田地区のコミュニティ拠点の形成を目指して、令和6年度に地域利用を開始する生田小学校下校庭に、市制100周年を機に行う地域との協働による植樹に向けて、樹木選定を行います。（新規）



多摩区3大学コンサート

区の機能強化に向けた取組

5,000千円

- 区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修

422,998千円

- 区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理

200,717千円

- 区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、施設補修等を行います。



麻 生 区

<予 算 額>

問合せ先:総務課 965-5106 内) 67110

1,002,503千円 (対前年度比: +7.2%)

<主な事業>

芸術・文化のまちづくりの推進

17,653千円

- 区内に集積する芸術関係の資源を活かしながら、市民、事業者、教育機関、行政等が連携して「芸術・文化のまち麻生」を推進します。
- 芸術・文化活動を体験・交流できる「カフェ・グランデ あさお」や、音楽団体や学校と連携した「麻生音楽祭」、世代や障害の有無等を超えて誰もが楽しむ「あさお芸術のまちコンサート」を開催します。
- 地域の文化団体等と連携して、麻生区特有の伝統・伝承文化の魅力を活かした事業を実施します。
- 観光関係団体等との連携による区内観光資源の魅力発信に向けた取組や、啓発グッズの作成・配布等により、令和6年度の市制100周年・全国都市緑化かわさきフェアに向けた効果的なPRを進めていきます。(拡充)



kirara@アート
しんゆり

農と環境を活かしたまちづくりの推進

6,836千円

- 大学や農業事業者、区民等と連携し、区内の農業資源や環境資源を活かして、黒川地区や岡上地区の地域活性化に向けた取組を推進します。
- 区のローカルSDGsプラットフォームの創設に向けた取組を推進し、持続可能なまちづくりを目指します。
- 市民団体と連携し、自然エネルギーの活用など地球温暖化防止等に関する普及啓発の取組を推進します。
- 市制100周年・全国都市緑化かわさきフェアに向け、花苗の植栽を通して、地域の環境美化及び地域コミュニティに資する活動を推進します。(拡充)



花苗を植栽する
美化活動

高齢化への対応とすこやか・支え合いまちづくりの推進

3,456千円

- 高齢化が進展するなかで、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域活動の担い手を発掘・育成し、地域の実情に合わせた住民主体の地域づくりに向けた取組を進めます。また、健康づくり・介護予防や支え合いの意識の醸成を図るための普及啓発や情報発信を実施します。
- 区民や地域団体、関係機関等多様な主体と地域の現状や課題を共有し連携を図り、地域ぐるみで支え合いの地域づくりを進めます。

安全・安心まちづくりの推進

6,472千円

- 多様な主体の参加による総合防災訓練を引き続き実施するとともに、誰一人取り残さない災害に強いまちづくりに向け、自助・共助の取組の普及・啓発に関する取組を進め、地域に根差した、実践的かつ効果的な自主防災訓練を促進します。



麻生区総合防災訓練

○区の災害対応力の向上を図るため区本部運営訓練等の実施、避難所の安定運営に資する避難所運営会議への活動支援を推進します。

○交通安全・防犯の関連団体等と連携し、街頭啓発活動、安全パトロール実施組織への支援、研修会、スケアードストレート方式による交通安全教育、麻生区メール配信システムの運用等を行います。

総合的な子ども・子育て支援の推進

4,900千円

○子ども・子育て関連団体等との連携会議を通じ、情報の共有や課題を把握し、地域ぐるみで子ども・子育て支援に取り組みます。

○区内の保育所等子育て関連機関や民間企業と連携し、地域における子育て支援を推進します。

○子育て支援情報を様々な媒体を活用して発信し、各種制度や相談等の支援に繋げることで、保護者の育児による孤立感や不安の軽減を図ります。

○麻生区・大学公学協働ネットワークとの連携により、近隣大学の専門性を活かした事業やイベントを実施します。体験学習やコンサート等を通じ、子ども達に多様な経験の機会を提供するとともに、大学と地域の連携を促進し、より麻生区に愛着が持てるまちづくりと子ども・子育て支援を実施します。



親子で体験アドベンチャー

地域資源を活用したコミュニティづくりの推進

19,738千円

○市民主体で運営する市民活動支援の拠点である「麻生市民交流館やまゆり」を通じて、市民活動の場や情報等を提供し、市民活動の一層の推進を図ります。

○地域の担い手である町内会・自治会の活動を支援し、地域住民のつながりや地域の課題解決力の強化を図るとともに、地域コミュニティの活性化に取り組みます。

○川崎フロンターレ麻生グラウンドをはじめとした区内の様々なスポーツ資源を活用した連携事業を実施し、スポーツを通じたコミュニティづくりを進めるほか、「あさおスポーツフェスティバル」を通じて、区内で行われる各種スポーツ大会を支援します。

○総合型地域スポーツクラブやスポーツセンターにおけるパラスポーツ体験・教室開催の支援等を実施し、かわさきパラムーブメントを推進します。

○市制100周年・全国都市緑化かわさきフェアに向けて、スポーツ関連団体等の連携を促進し、区の魅力を高める取組を実施します。(拡充)



アクティブシニア講座



麻生区ポッチャ大会

区の機能強化に向けた取組

5,000千円

○区が適切かつ速やかに課題解決に対応できるよう、区の機能強化に向けた取組を推進します。

道路の維持補修

448,527千円

○区内の道路等の維持補修、清掃等を行います。

公園緑地・街路樹の維持管理

109,614千円

○区内の公園緑地の樹木の剪定や街路樹の維持管理、施設補修等を行います。

上下水道局

<予算額>

問合せ先:財務課 200-3104 内) 45403

162,808,695千円 (対前年度比: +1.6%)

<主な事業>

安定給水の確保と安全性の向上

水道施設・管路の更新・耐震化事業の推進 14,360,152千円

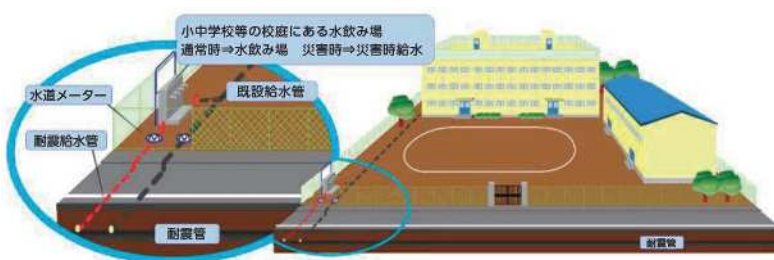
- いつでも安心して使用することのできる水道水を安定して供給するとともに、災害時にも市民生活への影響を最小限に抑えるため、老朽化した管路や防災計画上、給水の継続が必要な重要な施設への供給ルートとなる管路などを耐震管で更新します。(更新延長約40km)
- 基幹管路の将来における更新や、漏水事故・維持管理等への対応強化のため、基幹管路の二重化・ネットワーク化を進めます。
- 応急給水拠点の利便性を高め、より迅速な応急給水の実現を図るため、供給ルートとなる管路の耐震化が完了した市立小中学校の水飲み場と配水池・配水塔を活用し、開設作業が不要な応急給水拠点の整備を計画的に進めます。
- 千代ヶ丘配水塔及び長沢浄水場排水処理施設において、施設の更新・耐震化を進めます。



耐震管布設工事



基幹管路の二重化・ネットワーク化 (イメージ図)



開設不要な応急給水拠点の設置



長沢浄水場排水処理施設

工業用水道施設の整備事業の推進

2,469,738千円

- 老朽化した配水管の更新を進めます。
- 基幹管路のバックアップ機能強化のため、浄水場等連絡管の整備を進めます。
- 水道との共用施設である長沢浄水場排水処理施設の更新・耐震化を進めます。
- 浸水想定区域内に含まれる施設のうち優先度の高い施設の浸水対策を進めます。

下水道による良好な循環機能の形成

防災・減災、国土強靱化のための浸水対策・地震対策事業の推進

5, 868, 516千円

- 令和元年東日本台風の被害を踏まえ、山王排水樋管周辺地域においてバイパス管の整備を進めるとともに、中長期対策の具体化に向けた取組を推進します。
- 浸水対策として6つの重点化地区のうち、三沢川地区、土橋地区及び京町・渡田地区の対策を推進するとともに、その他の重点化地区の対策についても工事着手に向け、取組を進めます。
- 外水氾濫等の被災時において、下水道機能を確保するため、下水道施設の耐水化を推進します。
- 避難所や重要な医療機関等と水処理センターを結ぶ管きよの耐震化を推進します。
- 大規模地震の被災時において、最低限の下水処理機能を確保するため、汚水揚水機能及び消毒機能の確保に向け、ポンプ場・水処理センターの耐震化を推進します。
- 耐震性を有する管きよによる汚泥圧送管の二条化を推進します。



雨水管布設（推進工法）

合流式下水道改善事業の推進

2, 405, 939千円

- 下水道法施行令に基づき、令和5年度までに対策を完了することが義務付けられている合流式下水道改善事業について、雨天時に未処理下水が公共水域に放流されることを削減するため、六郷遮集幹線の整備、大師河原ポンプ場の再構築に併せた施設の改造を推進します。



六郷遮集幹線

高度処理事業の推進

3, 366, 942千円

- 下水道法に基づき神奈川県が策定した「東京湾流域別下水道整備総合計画」で掲げられた目標水質の達成に向け、等々力水処理センターの高度処理施設（流量調整池、脱窒ろ過池、反応タンク）の整備を推進します。



脱窒ろ過池工事

下水道の管きよ・施設の老朽化対策及び未普及解消事業の推進

9, 107, 811千円

- アセットマネジメントによる下水道施設の効率的な管理に取り組みます。
- 管きよ再整備重点地域において、老朽管の布設替えや更生工法による再整備を推進します。
- 入江崎総合スラッジセンターにおいて、施設の再構築を推進します。
- 水処理センター・ポンプ場において、機械・電気設備の長寿命化対策を推進します。
- 設備更新や再構築に併せ、省エネ、創エネ機器の導入等による温室効果ガス排出削減の取組を推進します。
- 土地区画整理事業区域内など、下水道の未普及地域の解消に取り組みます。



入江崎総合スラッジセンター
(完成イメージ)

交通局

<予算額>

問合せ先: 経理課 200-3203 内) 47301

12,170,604千円

(対前年度比: +4.8%)

<主な事業>

市バスの輸送サービスの充実

安全な輸送サービスの確保

93,826千円

○市バスの安全管理体制を構築・改善する「運輸安全マネジメント」を推進し、全職員が一丸となって、輸送の安全性向上に取り組みます。

- ・事故防止に向け、自転車の追い抜き・追い抜かれ、夜間走行の危険性等を体験する運転手実技研修の実施
- ・ドライブレコーダーを計画的に更新するとともに、レコーダーの映像を活用した研修や、事故の要因分析等、安全、安心を確保するための取組を実施
- ・小中学生や高齢者に向けた安全啓発の取組として、バス車両の機能や特性、多様な利用者への対応について学び、安全意識を高めるとともに、バリアフリーの大切さを学んでもらう交通安全・バリアフリー教室を実施
- ・自転車の接触事故に対する注意喚起のための看板を自転車等駐車場へ設置



運転手実技研修



交通安全・バリアフリー教室

市バスネットワークの形成

8,632千円

○社会変容による通勤等の輸送需要の変化を見極めつつ、総合都市交通計画や地域公共交通計画、臨海部ビジョンなどの関連計画と連携しながら効率的な市バスネットワークの形成を図ります。

お客様サービスの推進

8,874千円

○運転手の安全な運転操作や接客サービス等の実施状況を確認するため、添乗観察を計画的に実施し、その結果に基づく改善指導を行います。

○高齢者・障害者・妊産婦など、誰もが安全、安心、快適に利用できる「心のバリアフリー」を推進するため、車いす・ベビーカー利用時のルール・マナーを、車内広告等を用いて広く周知するとともに、運転手に対する非常用具・車椅子等の取扱いに関する講習や、サービス向上研修等を実施します。



ベビーカー利用に関する車内広告

事業基盤の強化に向けた取組の推進

25,426千円

- 運転手、整備員の計画的な採用に向けて、効果的な広報や多様な採用選考等を実施します。
- 全国的にバス運転手が不足している状況を踏まえ、大型自動車第二種免許を保有していない若年層の採用に向けて、運転手（養成枠）の採用選考を引き続き実施します。
- 脱炭素の取組を推進するため、営業所施設照明のLED化に向けた実施設計を行います。

営業所の管理委託

2,387,239千円

- 効率的な市バスネットワークを維持するため、上平間営業所及び井田営業所の管理委託を引き続き実施します。

バス利用環境の充実・移動空間の快適化

2,538,987千円

- 人と環境にやさしい市バスを目指して、国庫補助金等を活用しながらCO₂排出量の少ないハイブリッドバス車両を導入し、引き続き脱炭素に向けた取組を推進します。
 - ・更新予定車両数 39両
- お客様への快適なバス待ち空間の提供に向けて、バス停留所施設（標識、停留所上屋等）の点検、修繕、清掃などを引き続き実施します。
- 運転手を含めた営業所職員の手指消毒やマスク着用の徹底、全バス車両に抗ウイルス・抗菌施工を実施するなど、新型コロナウイルス感染症防止対策を引き続き実施します。



ハイブリッドバス

収益事業の推進

14,926千円

- 市バスの広告事業として、ラッピングバス広告や車内音声広告、車内額面広告等を行うほか、新たな広告媒体の検討を行います。



ラッピングバス

職員（運転手等）の健康管理の推進

20,074千円

- 運転中の心臓疾患、大血管疾患及び脳血管疾患の発症の予防、疾病の早期発見・治療に向け、心臓疾患、大血管疾患対策検査及び脳健診を引き続き実施します。
- 定期健康診断の受診を徹底させ、疾病の早期発見・治療につなげることで、職員の健康保持・増進を図ります。また、産業医による定期的な巡回を行うとともに、保健相談員による保健相談・指導を行うなど、安心して健康に働くことができる職場環境づくりに取り組みます。
- 睡眠時無呼吸症候群（SAS）のスクリーニング検査を計画的に実施します。

病院局

<予算額> 問合せ先:経営企画室 200-3855 内) 70520

50,181,898千円 (対前年度比: +17.8%)

<主な事業>

信頼される市立病院の運営

医療の質の向上と体制の整備 256,334千円

○時代の要請に応じて、ポストコロナ時代の感染症対策、働き方改革と効率的医療の実現、持続可能な社会を志向した医業実践に取り組みます。

経営健全化の推進 297,398千円

○市立3病院では、「川崎市立病院経営計画2022-2023」に基づき、「医療機能の充実・強化」、「地域完結型医療の推進」、「地域・社会への貢献」、「強い経営体質への転換」を図ります。



川崎病院の運営 17,704,591千円

○高度・特殊・救急医療を中心に、周産期・小児・精神科救急に対応します。また、消防局と連携してプレホスピタル活動に取り組みます。

○地域がん診療連携拠点病院として、五大（胃、大腸、肝、乳、肺）がんの他、血液、脳、泌尿器、婦人科、耳鼻咽喉科、皮膚科領域など広範な領域のがん診療に取り組みます。

○第二種感染症指定医療機関として新型コロナウイルス感染症など新興感染症の対応、また、エイズ診療拠点病院としての役割を果たします。

○災害拠点病院、難病指定医療機関、認知症疾患医療センターとしての役割を果たします。

○より高精度な画像撮影が可能な磁気共鳴断層撮影装置の導入を行うなど、地域医療水準の向上に取り組みます。

○外国人対応医療体制の充実に取り組みます。

○川崎病院医療機能再編整備について、令和2年度に着手したエネルギー棟などの建築工事が完了し、8月以降運用を開始します。また、救命救急センター棟建築工事及び既存棟改修工事に着手します。



川崎病院



川崎病院
救命救急センター棟（完成イメージ）

井田病院の運営

5, 160, 641千円

- 地域がん診療連携拠点病院として、消化器がん、肺がん、乳がん等の精密ながん検診から、手術・化学・放射線治療、リハビリ、終末期の在宅緩和ケアまでトータルながん診療に取り組みます。
- X線透視下で検査や治療を行う血管造影X線診断装置（アンギオ装置）を更新します。放射線診断科、循環器内科、血管外科での診断・治療の精度の向上に取り組みます。
- 新型コロナウイルス感染症対応のみならず、市内唯一の結核病棟を持つ病院としての役割を果たします。



井田病院



- 地域医療機関との連携による機能分化を推進するとともに、地域包括ケア病棟の活用によるリハビリテーション機能の充実、地域の在宅療養患者の緊急時の受入れなど、在宅復帰・在宅療養支援の充実に向けて取り組みます。
- 省エネルギー改修にかかる経費を光熱水費の削減分で賄うESCO事業による院内照明のLED化を実施し、環境負荷の軽減及び光熱水費の経費削減に取り組みます。

多摩病院の運営管理 1, 072, 105千円

(指定管理者：学校法人聖マリアンナ医科大学)

- 北部医療圏での二次救急医療の拠点として、小児医療を含めた救急医療を中心に、高度・特殊・急性期医療などを提供します。
- 災害拠点病院としての役割を担うとともに、地域医療支援病院として医療機器の共同利用や地域の医療従事者を対象とした研修の実施、「登録紹介医の会」を開催するなど、地域のかかりつけ医との連携強化を進めることで、地域全体の医療提供体制の向上を図ります。また、緩和ケア病棟では看取りだけでなく急性期から外来・在宅への移行支援を行うことで、地域における完結型医療提供体制の構築に取り組みます。
- 施設・設備の老朽化に対し、長寿命化に向けた維持補修を実施します。



多摩病院

特別会計予算

本市の予算は、一般会計のほかに、主に特定の収入をもって特定の事業を行う場合で、一般会計の歳入歳出と区分して経理する必要がある場合に特別会計を設けています。ここでは、特別会計で実施している事業を紹介します。

競輪事業

26,026,711千円

【所管局：経済労働局】

- 包括業務委託による民間ノウハウを活用した効果的・効率的な事業運営を行うなど、持続可能な競輪事業の運営に努め、市財政への継続的な貢献を図ります。

・年 19 回 59 日 開催予定

川崎競輪イメージキャラクター
「九ちゃん」



卸売市場事業

1,773,459千円

【所管局：経済労働局】

- 「川崎市卸売市場経営プラン改訂版」に基づく施策の推進や、南部市場青果棟卸売場の天井改修、北部市場汚水処理場修繕等を実施するなど、安定的な運営を行います。

・北部市場（中央卸売市場）、南部市場（地方卸売市場）

国民健康保険事業

128,617,502千円

【所管局：健康福祉局】

- 他の健康保険に加入していない方等を被保険者とし、神奈川県と共同で運営します。

・被保険者数（年平均） 233,000 人

- 国民健康保険システムは、国が進める地方公共団体の情報システムの標準化への対応を進めます。

母子父子寡婦福祉資金貸付事業

220,462千円

【所管局：こども未来局】

- 母子父子寡婦世帯の経済的自立を支援するため修学資金等の貸付けを行います。

後期高齢者医療事業

19,609,798千円

【所管局：健康福祉局】

- 75歳以上の高齢者等を被保険者とし、神奈川県後期高齢者医療広域連合と連携して事業を実施します。

・被保険者数（年平均） 164,701 人

- 後期高齢者医療システムは、国が進める地方公共団体の情報システムの標準化への対応を進めます。

公害健康被害補償事業

74,298千円

【所管局：健康福祉局】

- 一般財団法人川崎市公害対策協力財団からの拠出金を主な財源として、大気汚染の影響による健康被害に係る補償を行うとともに、被害者及びその遺族の生活の安定並びに福祉の向上を図ることを目的として、必要な事業を行います。

・被認定者数（年平均） 1,111 人

介護保険事業

114,898,513千円

【所管局：健康福祉局】

○要介護認定者等の介護サービス利用に係る保険給付等を行います。

- ・第1号被保険者数（年平均） 316,362人



港湾整備事業

4,060,102千円

【所管局：港湾局】

○港湾施設使用料や財産収入等により、上屋、荷役機械置場、コンテナターミナル等の港湾施設の整備及び管理運営を行います。

○川崎港の物流機能強化に資する港湾関連用地等を確保するため、海面埋立による土地造成を行います。

勤労者福祉共済事業

115,895千円

【所管局：経済労働局】

○勤労者福祉共済の会員からの掛金収入等により、給付や福利厚生事業等を行います。

- ・加入者数（年平均） 11,838人



墓地整備事業

432,302千円

【所管局：建設緑政局】

○墓地使用料等により、墓地（緑ヶ丘霊園・早野聖地公園）の整備を実施します。

- ・緑ヶ丘霊園小区画一般墓所（96か所）の整備等
- ・早野聖地公園次期整備区域の造成・基盤整備に向けた調査等

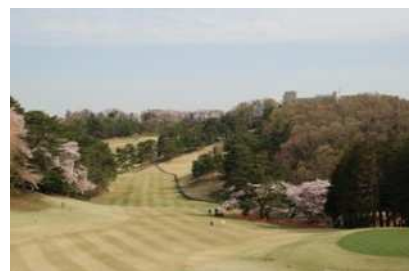
生田緑地ゴルフ場事業

437,435千円

【所管局：建設緑政局】

○利用料収入により生田緑地ゴルフ場（多摩区）の整備・管理を実施します。

- ・ゴルフ場園路補修工事



生田緑地ゴルフ場

公共用地先行取得等事業

1,487,078千円

【所管局：財政局】

○将来、公園や道路などの公共事業に供する用地の先行取得、及び先行取得した用地の維持管理を行い、円滑な事業の実施を図ります。

公債管理

172,276,107千円

【所管局：財政局】

○川崎市債の発行・償還（元金の償還及び利子の支払い）を行います。

○将来の元金償還に備え、減債基金への積立を行います。